



平成 29 年度 錦田小学校区 第 1 回地域コミュニティ連絡会のまとめ



作成：三島市役所 地域協働・安全課 きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

5月23日（火）に開催された「平成29年度錦田小学校区第1回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。当日の発言や意見をまとめた資料ができましたので、送付いたします。（三島市のホームページにも掲載しています）

■開催概要■

日時	平成 29 年 5 月 23 日（火） 19:00～20:45		
会場	錦田公民館		
参加団体 (42名)	小山中島自治会 谷田自治会 御門自治会 玉沢町内会 押切町内会 桜ヶ丘町内会 東富士見自治会 並木自治会 緑ヶ丘自治会 塚の台町内会 ヴァンヴェール遺伝坂自治会	シャリエ三島松が丘自治・防災会 交通安全母の会 三島市立錦田保育園 錦田幼稚園 私立桜ヶ丘幼稚園 錦田小学校 錦田小学校PTA 錦田中学校 錦田中学校PTA スクールガード	子ども会連合会 御門子ども会 東富士見子ども会 錦田小学校支援地域本部 錦田中学校支援地域本部 エコリーダー 環境美化推進委員会 保健委員会 三島市社会福祉協議会 みしまものづくりラボ

■次第■

開会・市長あいさつ

- 1 「地域コミュニティ連絡会について」
- 2 「地域の情報を共有しよう」
- 3 「計画案で実践できることを考えよう！」
- 4 「アンケート記入」



「地域の情報を共有しよう」のまとめ

今回の「地域の情報交換」では、小学校区の年間スケジュール表や各団体から出された情報を参考にしながら、各団体間の情報を共有しました。

○「小学校区の年間スケジュール表」について

小学校区内で活動する団体の行事や活動等を各団体と共有し、日程調整等のために活用していただくことを目的に、本年度から小学校区内の団体等の予定を合わせた年間スケジュール表を作成しています。

■主な情報交換の内容

団体	情報の概要
錦田小学校	<ul style="list-style-type: none"> 毎月「いいねの日」や「ありがとうの日」を設定して、良いことを褒めたり、感謝する取組みをしている。家庭だけでなく、地域にも広げたい。 校門近くの掲示板に子どもたちの良かったことなどを掲示できるようにするので、地域の方もよいところを見つけたら書いてください。 6/2 に地域と連携した訓練として自治会長と集団下校をする予定です。
錦田幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> 預かり保育を始めました。
東富士見子ども会	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会の加入者が減っていますが、町内会が子ども会を支えているので、活動を継続しています。
環境美化推進委員	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを対象に環境のことを伝える活動をしています。
みしまものづくりラボ	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達にもものづくりの面白さを伝えたいので、「みしまものづくりラボ」を立ち上げようと考えています。一緒にやってくれる地域の人達を求めています。2~3ヶ月後に立ち上げる予定なので、ぜひ協力してください！
社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> 地域の居場所（高齢者サロンなど）に関する問い合わせは社協へどうぞ。
子ども会連合会	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会の加入者が減少しています。「子ども会のメリットがわからない」「(親の) 役員の仕事が負担」などの声を聞きますが、社会性を身に着け、将来の地域を担っていく子どもたちの成長の場です。ぜひご協力ください。
錦田中学校支援地域本部	<ul style="list-style-type: none"> 偶数月に松並木清掃をしています。毎回、清掃後に軽食など（6月はおかき氷）を用意しています。地域の方もぜひご協力ください。

■小学校区の年間スケジュール表の追加・修正内容

日にち	団体名	行事・活動等
6/11（日）	桜ヶ丘町内会	町内清掃
6/13（火）	錦田小学校支援地域本部	小学校花壇清掃（14:35～）
6/16（金）	御門自治会	「防災講和」→「防災講話」

「計画案で実践できることを考えよう！」のまとめ

■旗揚げアンケートの結果

きずながつくる協働の取組み計画案に掲載されている取組みのうち、昨年度第2回連絡会で投票数の多かった取組みに絞り、話し合いたいテーマとしてふさわしいものを旗揚げアンケート方式で把握しました。

■	錦田小の“あいさつチャンピオン”や 錦田中の“あさげ運動”に地域全体で取り組む。	13
■	災害時に中高生が活躍する(できる)場面を確認する。	14
■	老人会と子ども会の連携を継続・活性化する。	11

その後、選択したテーマごとにグループを作り、グループ別に意見交換を行いました。

■グループ別意見交換のまとめ

グループA	錦田小の“あいさつチャンピオン”や錦田中の“あさげ運動”に 地域全体で取り組む。
-------	---

●目的（何のため？）

- ・お互いに知り合うための一歩
- ・人を知る雰囲気づくり
- ・どんな人（親、近所の人、学校の人）でもあいさつできるように
- ・人と人のスムーズな関係をつくるため。
- ・子どもは「このような場面ではあいさつするんだ」という経験が必要

●“あいさつチャンピオン”“あさげ運動”とは？

- ・大きな声であいさつできる子を年2回クラスで選ぶ
- ・子ども達にあいさつの習慣をつけてもらう
- ・あいさつの声で子どものことが分かる
- ・1人で歩いている子はあいさつするが、複数だと返ってこない
- ・恥ずかしいのか、誰に言われているかわからないのか

●クリアすべき課題は？

- ・（あいさつしない大人に対して）あいさつしない理由を聞いてみたい

●解決策

- ・一斉あいさつ運動で半強制的にやる
- ・地域の班長さんなどに頼めばやってくれる
- ・上手に話をする（うまく伝える）
- ・朝、見学会をやれば刺激になる
- ・家から学校までにあいさつした人を競争する



●目的 (何のため?)

- ・防災の関心を高める為
- ・中高生はまず自分の命は自分で守る
- ・復旧作業
- ・地域にできる人ができる事をする! (中高生は自助が一番)

- ・保育園側としては、園児と遊ぶ、避難所設置の手伝いをお願いしたい
- ・生徒同士、協力しあう活動が日常的に行われているので、園内に来て頂ければ大きな力になってくれると思う

●災害時に中高生が活躍できるのはどんな場面?

地域の考え

- ・自主防災会の指示で動く
- ・情報伝達などしたらどうか

保護者の考え

- ・避難所のサポート

保育園の立場

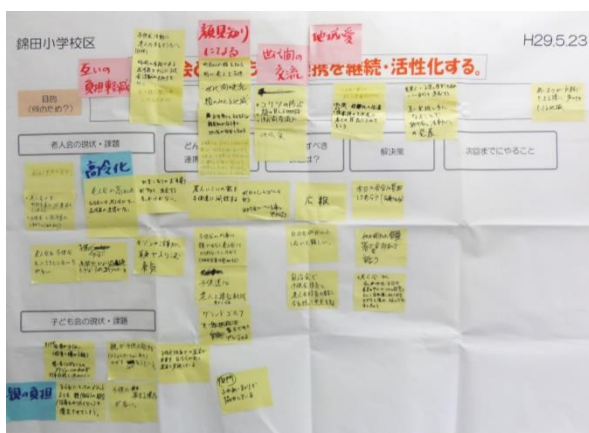
- ・中高生は園内の災害現場で、園児にとって親しみやすい対象であると思う。混乱が起きにくいという良さがある

●クリアすべき課題は?

- ・どの場面で参加させるか
- ・まず自分の命を守ることが第一

●実際に活躍するためにどんな取り組みが必要か?

- ・災害のための教育が必要
- ・危険が伴わないようなこと



●目的（何のため？）

＜お互いの負担軽減＞

- ・子ども会活動に老人団体の手を借りたい
- ・時間の余裕がある高齢者を中心に子ども会活動の手助けを行う
- ・花の植え替えの時子ども会も参加

＜顔見知りになる・世代間交流＞

- ・町内の人の顔を知る。特に老人と子ども
- ・顔の見える地域にする
- ・あいさつや声掛けが気軽にできる地域に
- ・町内の親睦を図る
- ・地域愛

＜高齢者の孤立防止・生きがいづくり＞

- ・孤立防止
- ・お年寄り子ども達が顔見知りになる事が地域の安全を図る
- ・お年寄りは子どもとふれあうことで楽しみ、生きる張り合いができる。

＜知識・経験の伝達＞

- ・知識、経験の伝達。核家族の子ども達に老人の存在にふれてもらう
- ・互いに助け合い活動への発展
- ・子どもはお年寄りとのふれあいで様々な知識を得られる。（祖父母のいない子も多い）

●老人会の現状・課題

＜老人会の高齢化・男性会員の減少＞

- ・老人会に男性がいない
- ・老人の高齢化
- ・老人会も子ども会も入らない方が多い
- ・高齢化で存続できないため孤立している
- ・既存の活動に単身で入り込む勇氣

＜老人会がない＞

- ・老人会がない。町内全員に必要性を訴える
- ・自治会には老人会がない

＜高齢者の孤立化＞

- ・高齢者の連携がない
- ・ひきこもりのお年寄りが多く、外出するきっかけがない

●子ども会の現状・課題

- ・そもそも子ども自体が少ない
- ・子ども会会員が少ない（役員を嫌がる親）
- ・習い事（スポ少）とのスケジュールがあわず行事日程を決めにくい
- ・親が子どもの能力（コミュニケーション能力）を伸ばすジャマをしている
- ・子ども会独自で運営ができず、自治会が主に運営を実施している
- ・親が子どものメリットよりも自分の都合（役員の負担を避ける）を優先させている
- ・子どもの集まる場所がない

●どんなことなら連携できそう？

- ・老人いこいの家を子ども達に開放する
- ・ふれあい祭りで老人と共通するゲーム
- ・自治会のいろんなことに参加する
- ・子ども会の行事に親ではなく老人会に執り行っていただく（子ども会会員は参加する）
- ・子ども達は老人と接する遊びを考えさせる
- ・グランドゴルフを子どもとプレーさせる
- ・（御門は）ふれあいまつりで協力している

●クリアすべき課題は？

- ・広報が必要
- ・自治会が介入しないと難しい
- ・自治会で子ども会と老人会の話合いを行う

●解決策

- ・（会長さんに）連絡会に参加してもらう
- ・他の町内の役員等で会合行って話す